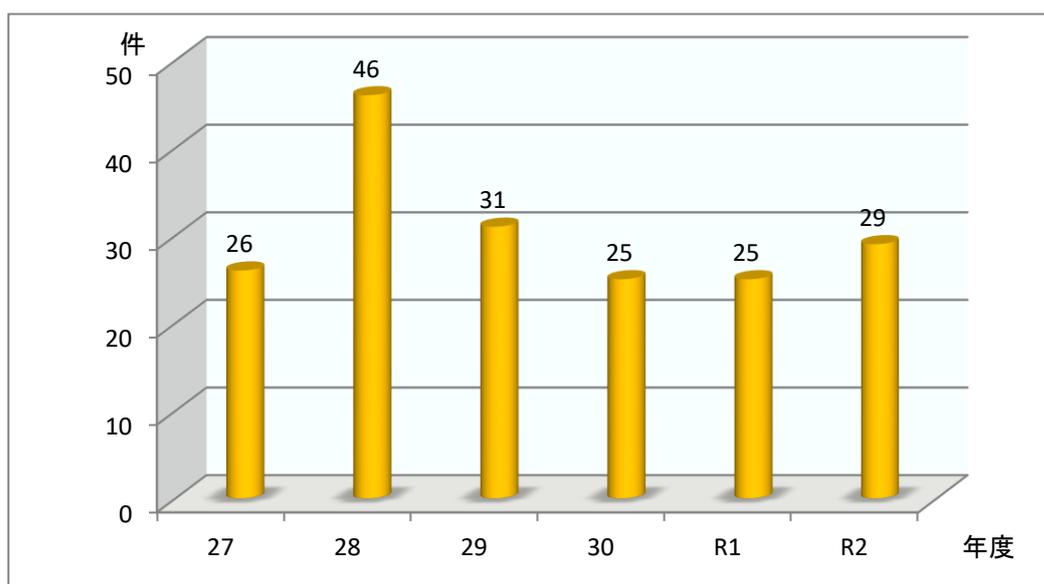


## 8 胎児心エコー実施数

### 解説

先天性心疾患は乳児死亡最大原因でありながら、胎児診断が最も困難な先天異常です。胎児心エコー検査の診断技術は年々向上し、その診断率は2000年以前のほぼ0%から現在は60%以上となりました。以前は救命できなかった症例が、出生前の適切な診断と出生後の迅速な処置で救命可能となってきました。

### 実績



### 自己点検評価

本院で行われている胎児心エコーはそのほとんどが県内ならびに秋田県北の産科施設で胎児心疾患が疑われて紹介されてきた症例である。したがって分娩数の減少に伴い減少傾向にあったが、昨年より西北地域でも胎児心エコースクリーニングが浸透してきたため、若干増加に転じている。当院には県内唯一の胎児心エコー胎児心エコー認証医が在籍しており、出生前に先天性心疾患が診断される意義は極めて大きい。

### 定義

各年度1年間の胎児心エコー検査実施数

### 算式

実施数